

西南学院講座 in Tokyo

人間科学における エヴィデンスとは何か

臨床と哲学のあいだ Part 2



2015年

9/26 日 13:15開始(13:00~受付)

[場 所] サピアホール 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5階

[主 催] 学校法人 西南学院 [定 員] 150名 [受講料] 3,000円

講座の概要

昨今臨床精神医学や臨床心理学を初めとする人間諸科学領域において質的研究が注目されています。これらの領域でもエヴィデンスが強調されてきましたが、その多くは自然科学でのエヴィデンスを踏襲したものです。自然科学においては研究する主体が誰であっても変わらないということが大前提ですが、生身の人間を対象に同じ生身の人間が研究するという人間諸科学でも同じように研究者はまるで黒子のように扱われ、人間同士の営みで初めて生まれる人間的な関わりそのものは真正面から取り上げられることはほとんどありません。今切実に求められているのは、自然科学と比較するなかで、人間諸科学におけるエヴィデンスとは何かを検討することです。そのことが曖昧であるがために、今日の人間諸科学そのものが人間を疎外するような事態を生んでいるのではないのでしょうか。このような問題意識のもとに今回の企画を立てました。本講座は、2年前に開催し好評を博した西南学院講座 in Tokyo「臨床と哲学のあいだ」の第2弾です。(企画者:小林 隆児)

講 師

西 研 / 山竹 伸二 / 小林 隆児
哲学者 著述家・評論家 児童精神科医
東京医科大学教授 西南学院大学教授

スケジュール

13:15~14:30 講座1/西 研『本質観取と人間科学におけるエヴィデンス』
14:45~16:00 講座2/山竹 伸二『こころの臨床における質的研究とエヴィデンス』
16:15~17:30 講座3/小林 隆児『精神(心理)療法におけるエヴィデンスとは何か』
17:45~18:30 鼎談と全体討論 司会:佐川 貢太郎(東洋大学)

※講座の運営に支障を来す行為をされた場合は、ご退席いただく場合がございます。
※受講の申し込みについては、裏面をご覧ください。

問い合わせ・申し込み先

西南学院東京オフィス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー10階
TEL.03-5220-3737 FAX.03-5220-3838

メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp URL <http://www.seinan-gakuin.jp/>

開室時間 [平日]9:30~18:30

[土曜日]9:30~17:00(日、祝日、学院の定める休日は閉室)

『西南学院講座 in Tokyo』 受講申込書

記入上のご注意

- ① 住所・氏名(フリガナ)・電話番号は、必ずご記入ください。
- ② 年齢・職業等については、受講者層を把握し、講座の運営に役立てるために使わせていただきますので、お差し支えない範囲でご記入ください。

受講講座名	人間科学におけるエヴィデンスとは何か
住所	〒
フリガナ氏名	
電話番号	
年齢	才
職業	
今回の講座をどのような機会や媒体でお知りになりましたか?	

講師プロフィール

■ 西 研 Ken Nishi

1957年鹿児島県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、社会哲学専攻。哲学を「一人ひとりが自己と社会を深く考えるための技術」として再生することをめざす。現在は、支援(ケア)のための人間論とコミュニティ論の考察を主なテーマとしている。京都精華大学助教授、和光大学教授を経て、現在、東京医科大学教授(哲学教室)。教育出版小学校国語教科書「広がる言葉」編集委員。著書に『実存からの冒険』『哲学的思考』(ちくま学芸文庫)、『ヘーゲル・大人のなりかた』(NHKブックス)、『哲学のモノサシ』(NHK出版)、『集中講義 これが哲学!』『哲学の練習問題』(河出文庫)ほか多数。共著に、中村良夫・鳥越皓之編『風景とローカル・ガバナンス——春の小川はなぜ失われたのか』(早稲田大学出版局)、『高校生のための哲学・思想入門』(竹田青嗣ほかとの共著、筑摩書房)など。

■ 山竹 伸二 Shinji Yamatake

1965年広島県生まれ。学術系出版社の編集者を経て、現在、心理学・哲学の分野で著述家・評論家として活動中。大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員研究員。現代社会における心の病と、心理的治療の共通原理について、現象学的な視点から捉え直す作業を続けており、最近では、看護や保育、介護などのケアの領域における原理的考察に関心を持っている。著書に『認められたい』の正体(講談社現代新書)、『「本当の自分」の現象学』(NHKブックス)、『フロイト思想を読む』(竹田青嗣氏との共著/NHKブックス)、『本当にわかる哲学』(日本実業出版)、『不安時代を生きる哲学』(朝日新聞出版)、『子育ての哲学』(ちくま新書)など。

■ 小林 隆児 Ryuji Kobayashi

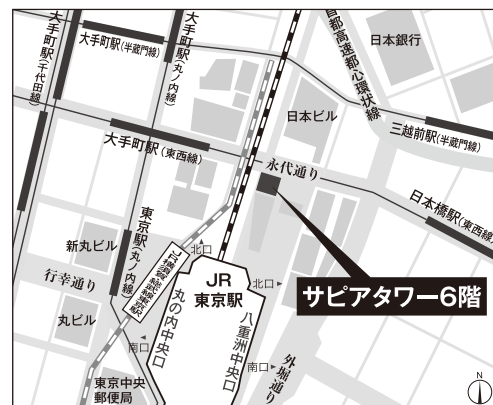
1949年鳥取県生まれ。児童精神科医、医学博士、日本乳幼児医学・心理学会理事長。九州大学医学部卒業。福岡大学医学部精神医学教室入局後、大分大学、東海大学、大正大学を経て、現在、西南学院大学人間科学部教授。乳幼児体験がこころの臨床に及ぼす影響を探究しつつ、従来の発達障害を初めとする精神疾患理解の脱構築に取り組んでいる。著書に『自閉症の発達精神病理と治療』『自閉症と行動障害』『自閉症とこころの臨床(共著)』『自閉症のこころをみつめる』(以上、岩崎学術出版社)、『自閉症の関係障害臨床』『自閉症とこころの成り立ち』『関係』からみる乳幼児期の自閉症スペクトラム』(以上、ミネルヴァ書房)、『自閉症の関係発達臨床(共編)』『発達障害の感覚・知覚の世界(共著)』(以上、日本評論社)、『よくわかる自閉症』(法研)、『関係からみた発達障害』(金剛出版)、『子どものこころを見つめて(小倉清・村田豊久対談、聞き手小林隆児)』『「甘え」とアタッチメント(共編)』(以上、遠見書房)、『甘えたくても甘えられない』(河出書房新社)、『あまのじゃくと精神療法』(弘文堂)など。

お申し込みは、この用紙に記入のうえ、FAX または郵送にて受け付けます。この用紙以外の任意の用紙またはハガキ、メールでも受け付けています。その場合は、必ず件名に『西南学院講座 人間科学』と記入してください。(申込受付確認の返信はいたしませんので、ご了承ください。)

お申し込みは先着順に受け付け、**8月下旬から** 順次、受講案内・受講料振込用紙を送付させていただきます。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー10階
西南学院東京オフィス(担当/吉田)
TEL.03-5220-3737 FAX.03-5220-3838
メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp

開室時間 [平日] 9:30~18:30 [土曜日] 9:30~17:00
※日、祝日、学院の定める休日は閉室



JR東京駅から 新幹線専用改札口(日本橋口)より 徒歩約1分
八重洲北口改札口より 徒歩約3分
地下鉄東西線大手町駅から B7出口直結(サピアタワー地下入口)

個人情報のお取り扱いについて

受講申込時にお預かりした上記の個人情報は、当講座の実施・運営ならびに次回の講座や本学院主催の講演会等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。なお個人情報は、紙および電子データで保存し「西南学院個人情報保護規程」、「西南学院個人情報取扱手引」に則って、第三者への無断提供、紛失、遺漏、改ざん等が無いよう、適切に管理いたします。